

1 単元名「中国・四国地方」

2 単元計画（総時数 5時間【本時3/5】）

- 中国・四国地方の自然環境・・・・・・・・・・・・・・・・（1時間）
- 交通網の整備と人々の生活の変化・・・・・・・・・・・・（1時間）
- 瀬戸内海の海運と工業の発展・・・・・・・・・・・・（1時間）
- 交通網を生かして発展する農業・・・・・・・・・・・・（1時間）
- 人々を呼び寄せる地域の取り組み・・・・・・・・・・・・（1時間）

3 授業の見どころ

ワークシートを活用することにより、書く負担が軽減され、思考や議論の時間を確保することができると考えている。また学習課題や全体の見通しが明確になり、学習内容の構造化にもつながる。さらに資料の選定から提示までを工夫することで、学習者の興味を引き付け、より深い学びの実現をめざしている。

4 本時の学習指導

(1) 目標

- ・ 瀬戸内海周辺の工場から、どのような工業が発達しているのかについて理解できる。
- ・ 工業の発達と地理的特徴がどのように関わっているのかに気づき、説明することができる。

(2) 学習指導課程

学習内容および学習活動	指導上の留意点および支援
<p>1 夜景の写真を見て、何の光が集まっているのかを考える。</p>	<p>○導入部分にふさわしい写真の選定や、提示の方法を工夫する。本時では電子黒板での一斉提示とする。</p>
<p>なぜ瀬戸内海周辺にはたくさんの工場が集まっているのだろう。</p>	
<p>2 瀬戸内工業地域の生産内訳を確認し、どんな工業製品が生産されているか確認する。</p>	<p>○既習事項の振り返りも兼ねて、瀬戸内工業地域の特徴を挙げるようにする。（輸送機械、化学、繊維）</p>
<p>3 ワークシートの瀬戸内で生産される工業製品を見て、どこで作られているものか考える。</p>	<p>○2の学習活動で挙げた工業製品が具体的にどのようなものかイメージできるように、写真資料を提示する。</p>
<p>4 工場設置に必要な条件を予想し、瀬戸内海周辺が工場の立地に適している理由をそれぞれの観点から考える。（個人→ペア）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 工場の面積確保 ○ 海運の利用 	<p>○地形図を準備し、工場の位置を確認する。地形図は坂出市の番の州のものを利用する。</p> <p>○現在と過去の空中写真を重ね合わせ、工場が埋め立てによって建設されていることを確認する。（1961年～と1974年～、1974年～と現在）</p> <p>○瀬戸内海に焦点を当て、重量のある工業製品の運搬には海運が便利であること、穏やかな内海であり、船が着港しやすいことにも着目させる。</p>
<p>5 学習内容の振り返りとして、映像を視聴する。</p>	<p>○視覚教材を視聴し、学習内容の振り返りを通して、知識の定着を図る。</p>
<p>6 学習課題に対するまとめを文章で表現する。</p>	<p>（NHK for school 瀬戸内工業地域）</p>
<p>○瀬戸内の工業は、繊維・化学工業・輸送用機械が特に発達しており、埋め立てによる工場用地の確保や海を利用した製品の輸送面で瀬戸内海という地理的特徴に大きく支えられている。</p>	